

第2510地区 第11グループ

2006~2007

The Weekly Report of



Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度  
国際ロータリーのテーマ

## 率先しよう



2006~07年度  
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ

—— 今、出来る事から始めよう ——



3月7日卓話 服部 誠弘 氏

### 《第2097回例会》 第34号 3月14日(水)

#### 本日のプログラム

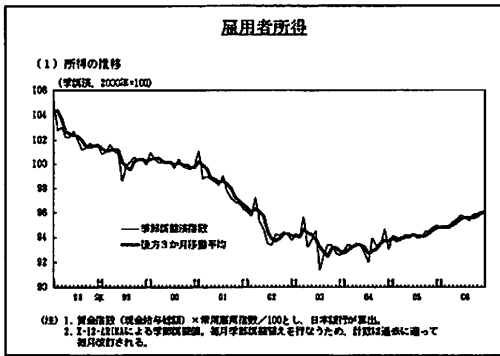
#### 「台北東北R.C.25周年記念訪問報告」

柴崎 晃 会長、増田定雄 友好クラブ委員長

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

雇用者所得の推移



BRICs 経済の拡大

高度成長の状況：中国

- ・ここ数年、実質10%成長を継続
- ・都市部人口5億人(毎年2千万人増加)
- ・パソコン、携帯電話、デジカメの生産は世界一
- ・自動車生産台数は2006年に700万台(日本1000万台)、2010年に1000万台へ
- ・5千万人の富裕層(個人資産10万ドル超)
- ・自動車販売台数は2005年に日本とほぼ並ぶ580万台、2010年には800万台とも

金融政策の変更

日銀、政策金利を 0.5% に引上げ(2月21日)  
(政策金利=無担保コールレートの誘導目標)  
(公表文から抜粋)

4. 経済・物価情勢の改善が展望できることから、現在の政策金利水準を維持した場合、金融政策面からの刺激効果は次第に強まっていくと考えられる。このような状況のもとで、仮に低金利が経済・物価情勢と離れて長く継続するという期待が定着するような場合には、行き過ぎた金融・経済活動を通じて資金の流れや資源配分に歪みが生じ、息の長い成長が阻害される可能性がある。日本銀行としては、2つの「柱」による点検を踏まえた上で、経済・物価が今後とも望ましい経路を辿っていくためには、この際金利水準の調整を行うことが適当と判断した。(中略)
5. 先行きの金融政策運営については、引き続き、極めて低い金利水準による緩和的な金融環境を当面維持しながら、経済・物価情勢の変化に応じて、徐々に金利水準の調整を行うことになると考えられる。

市場の先行き金利予測

- ユーロ円金利先物(3か月)の先行き限月毎の金利をグラフにしたのが下図(2月20日現在)。
- 9限月先で1.4%程度となっており、市場は、3ヶ月物金利が2年強かけて0.8%程度上昇すると予想。

(会報担当者：増山 正 委員)

70年の伝統・実績・信用を誇る

## 火災共済 山敷火災相互会

会長 増田 定雄

〒040-0062 函館市大縄町11番29号  
TEL(0138)41-1730 FAX(0138)40-6406

(広告掲載：増田 定雄 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎2月21日出席報告

|        |        |           |     |
|--------|--------|-----------|-----|
| 会 員    | 31名    | 出席率対象会員   | 30名 |
|        |        | 出席規定免除会員  | 1名  |
|        |        | 出席率規定免除会員 | 0名  |
| 当日出席   | 24名    | 当日欠席      | 6名  |
| 他クラブ出席 | 5名     | 出席合計      | 29名 |
| 出席率    | 96.67% |           |     |

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

|                           |             |                                                               |
|---------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------|
| <p>次回・3月21日<br/>プログラム</p> | <p>祝日休会</p> | <p>3月28日<br/>夜間例会「夫人同伴ディナーバイキング」<br/>函館ハーバービューホテル 午後6時30分</p> |
|---------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------|

3月7日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長      ◎斉 唱 君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

◎ゲ ス ト 日本銀行函館支店 支店長 服部 誠弘 氏 (函館R.C.)

◎ビジター 函館亀田R.C. 寺田真三君

★誕生祝 南木哲雄会員(31日)

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○特別ありません。

◎委員会報告

●親睦活動委員会 弗田 和則 委員長

3月28日の例会は「夫人同伴ディナーバイキング」になりますので、よろしくお願いします。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

○当クラブ28日の例会は時間と場所を変更し、夫人同伴の夜間例会を開催いたします。

○函館亀田R.C. 12日は自主休会、19日は夜間例会に変更です。

○例会終了後、理事会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 弗田 和則 委員

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……ロータリーを楽しく。

山下 幹事……月始めです。

泉 会員…… ”

新 会員……台湾へ行ってきます。

石橋 会員……結婚祝をいただきました。

弗田 会員……月始めです。

森 会員…… ”

阿部 会員…… ”

小笠原会員…… ”

中川 会員…… ”

茂木 会員…… ”

薮下 会員……服部支店長よりよろしくお願い致します。

松橋 会員……月始めです。

竹谷 会員……娘が大学卒業です。

成田 会員……月始めです。

千葉 会員……明日台湾へ行ってきました。

深瀬 会員……月始めです。

藤田 会員……親善大使で台湾に行ってきます。

◎卓話「今次景気局面の特徴と企業経営について」 日本銀行函館支店 支店長 服部 誠弘 氏

### 今次景気拡大局面の特徴

- イ) 世界経済の拡大が我が国にも恩恵（我が国企業による「3つの過剰の克服」が奏功）
- ロ) 同時に、世界規模で競争が激化
  - ・ BRICsなどの新興国が競争参入（EU加盟国の拡大なども）
  - ・ 情報化社会の進展（IT活用による諸コストの削減）
- ハ) ブランド力があり、国内外の市場で商品価格コントロール力をもつ企業が業績好調
- ニ) だが、業績好調企業も、先行きには慎重、コスト抑制姿勢 ⇒ 成長は緩やか
- ホ) 下請け企業や労働力も、間接的に海外と競争（条件を選び好みすると仕事が海外に）
- ヘ) 国内では、国・地公体の財政悪化から官需による地域間格差解消策が期待し難い状況

#### ■ いざなぎ景気（1965-1970）

- ✓ 欧米に追いつくプロセスでの成長
- ✓ 人口（就労者数）も増加（団塊世代）
- ✓ 平均で年10%超の実質成長
- ✓ 公的需要増加も寄与
- ✓ 失業率が低く、完全雇用の状態

#### ■ 今回の景気回復（2002-）

- ✓ 先進国として成熟
- ✓ 新興国に追われる立場
- ✓ 人口（就労者）は停滞から減少へ
- ✓ 財政赤字で公的需要はマイナス

|          | 今回の景気<br>(02年2月～) | いざなぎ景気<br>(65年11月～70年7月) |
|----------|-------------------|--------------------------|
| 名目成長率    | 1.0%              | 18.4%                    |
| 実質成長率    | 2.4%              | 11.5%                    |
| 国内民間     | 2.7%              | 12.6%                    |
| 設備投資     | 6.7%              | 24.9%                    |
| 個人消費     | 1.5%              | 9.6%                     |
| 公的需要     | -1.0%             | 7.6%                     |
| 輸出       | 10.6%             | 18.3%                    |
| 消費者物価    | -0.2%             | 5.1%                     |
| 失業率（レンジ） | 4.0～5.5%          | 1.0～1.6%                 |

（注1）成長率は、いずれも季節調整済年率（今回の景気は02年1-3月と00年7-9月の比較、いざなぎ景気は、65年10-12月と70年7-9月の比較）。

（注2）消費者物価伸び率は、年率（今回の景気は02年中と05年中の比較＜生鮮食品を除く総合＞、いざなぎ景気は65年中と70年中の比較＜持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合＞）。

### 今後の企業活動について

#### ■ 景気循環の面

- ✓ 国内景気拡大が継続すれば、観光需要の増加など道南への好影響の波及が広がり、経営環境は好転
- ✓ 但し、景気の急拡大は期待できず、潜在成長率の水準（2%内外？）を念頭に事業計画を立てるべき

#### ■ 成熟経済・競争激化

- ✓ 猫も杓子も儲かる時代ではない、「創業者利得」が肝心（儲かる企業とそうでない企業の二極化）
- ✓ 域外資本の道南進出はホテルチェーンに止まらない…街の活性化に繋がる一方、競争が激化
- ✓ ニッチ領域を確保するか、市場が拡大している分野を狙った経営戦略が必要
- ✓ 世の中の動きは速い、環境に応じて果敢に変化できるものが勝つ（M&Aも念頭に置いて）
- ✓ 収益改善のため、財務バランスのスリム化・経営効率改善の余地、尤も「高付加価値化」も選択肢

#### ■ 地域間競争の分野

- ✓ 例えば、「新幹線が来れば何とかなる」ではなく、主体的に「何とかする」必要
- ✓ 関係業者・機関を巻き込むことで、事業リスクを減らし、相乗効果を拡大
- ✓ PR戦略（旅行関連業者との調整、メディアの活用、函館ブランド+個社ブランド）